ねこ歩き

Go with cats. Iwago Mitsuaki's Photo Exhibition

岩合光昭写真展

平成27年
6月6日㊏～8月17日㊊

ギリシャ・サントリーニ島

担当学芸員が語る「ねこ歩き」展の見どころ
～志田理子学芸員に聞く～

平成27年夏、佐野美術館では岩合光昭写真展「ねこ歩き」を開催します。
世界で活躍する動物写真家・岩合光昭さんは大自然や野生動物を撮る一方で、身近な存在であるネコをライフワークとして撮り続けています。岩合さんの捉える自由で愛らしく誇り高いネコたちは観る人を魅了してやみません。本展では、これまで日本や世界の旅先で出会ったネコ、岩合家にあらたに仲間入りしたネコなど、約130点の作品を紹介します。

© Mitsuaki Iwago

平成24年度に続いて2回目となる岩合光昭さんのネコの写真展ですが、前回との違いは何ですか？

志田　前回の展覧会では、岩合さんが写真家として40年以上に渡り活動する間に撮影したネコの写真をみなさんにご紹介しました。今回は、岩合さんが近年訪れた世界各地で出会ったネコや、新たに家族に加わった岩合家のネコもご覧いただける展覧会です。

展覧会の構成とその内容を教えてください。

志田　本展は3つの章で構成されています。

第一章 „世界を歩く„ では、岩合さんが2012年から訪れたギリシャ・イタリア・トルコ・キューバ・モロッコ・アメリカの各地で撮影した新しい作品をご覧いただきます。

第二章は „日本を歩く„ です。約10年をかけて全国47都道府県を巡り、ネコに出会う旅をした岩合さん。ネコたちの様々な表情が美しい四季の景色とともに写真に写しだされています。

沖縄県・竹富町

第三章は „わが家のネコたち„ です。岩合さんの愛猫・海ちゃんの愛らしい姿は、前回の展覧会でもみなさんにご紹介しました。今回は本展チラシのメインイメージにもなっている「にゃんきっちゃん」ほか、「柿右衛門」「ケナ」という新しいメンバーも加えて、日々接しているからこそ捉えられたネコたちの魅力的な表情をご覧いただきたいです。

本展の見どころを教えてください。

志田　もちろん本展の作品はネコたちが主役ですが、ネコの背景に広がる世界各地の景色も見どころの一つです。各国の絶景や、その土地の街並み、人々の様子など。真っ青なエーゲ海や、どこまでも続く砂漠の景色は異国情緒たっぷりです。

また今回の展覧会には、世界各地に住む人や文化は異なるのに、ネコはどこに行ってもやっぱりネコだ、というサブテーマがあります。地球のどこに行っても変わらない、時に気ままで、逞しく、愛らしいネコの姿をぜひ堪能してください。

トルコ・イスタンブール

ミューズクラブ会員　募集中

ミューズクラブでは、随時会員を募集しています。
特典として、年間パスポート発行はもちろん、
アートに親しめる美術館ならではのイベントも多数開催しております。
お気軽にミューズクラブ事務局（TEL055-975-7278）までお問合せください。

新規入会者（平成２６年９月１日～平成２７年３月３１日まで）

正　会　員　石川寛治、岡島正樹、岡村久美子、尾川治子、小川良子、皆藤武明
小林久晃、齋藤曜、佐野圭作、杉江晴生、髙橋雅則
株式会社 西島工業 西島隆彦、福士光理、増田朱美、増田弘子

ゴールド会員　稲田みちる
株式会社 東静プランニング 岩田哲也
はごろもフーズ株式会社 溝口康博

※敬称略、50音順

Number 15 2015.03
佐野美術館賛助会ミューズクラブ会報
2015年3月号／第15号
発　行　日／平成27年3月31日　編集・発行／佐野美術館賛助会ミューズクラブ
〒411-0838　静岡県三島市中田町1-43　TEL:055-975-7278　FAX:055-973-1790　ホームページ：http://www.sanobi.or.jp

佐野美術館賛助会ミューズクラブ会報

ミューズ交歓

佐野美術館と皆さまをつなぐ

Number 15 2015.03
Muse Club Magazine
SANO ART MUSEUM

平成27年度 活動予定

イベントスケジュール

EVENT
イベント
情報

平成27年度に開催されるイベントをご紹介します。お気軽にご参加ください。

1 会員のつどい（新年度総会）

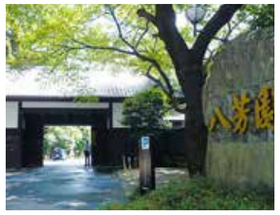
日　時：平成27年4月29日（水・祝）
15:00〜18:00
会　費：1,500円（会員）
定　員：50名（要申込・先着順）
会　場：佐野美術館講堂
出　演：入船亭 小辰（落語家）

新年度の総会として、昨年度の活動報告と新年度の活動計画を発表します。報告会の後は、余興として落語や会員交流を目的とした懇親会を開催します。落語家の入船亭小辰さんは、東京都出身の32歳。平成20年に入船亭扇辰師匠に弟子入りし、平成24年二ツ目に昇進しました。

2 芸術鑑賞日帰りバス旅行

日　時：平成27年6月22日（月）　7:00〜20:00
会　費：会員／10,000円　一般／15,000円
定　員：80名（要申込・先着順）
行き先：国立劇場、東京都庭園美術館、八芳園
演　目：壺坂霊験記

東京都庭園美術館



八芳園

国立劇場での歌舞伎観劇をメインとした、毎年恒例の芸術鑑賞バスツアー。今年は午前中に、昨年末リニューアルオープンした東京都庭園美術館の新館を見学、ご昼食は八芳園で和食のランチをお召し上がりいただきます。国立劇場では、「歌舞伎鑑賞教室」と題したレクチャー付きの演目を鑑賞します。歌舞伎は初めてという方にもおすすめです。

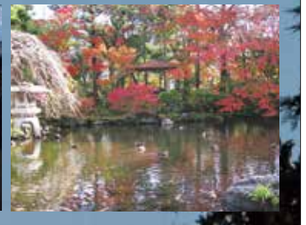
3 第10回 ミューズクラブ ゴルフ大会

日　時：平成27年9月11日（金）
8:00〜16:00
会　費：会員／3,000円
一般／5,000円
プレー代：9,000円※昼食代別
定　員：32名（4名×8組）
会　場：芦の湖カントリークラブ

佐野美術館創設者・佐野隆一翁ゆかりのゴルフ場・芦の湖カントリークラブで開催する、会員親睦ゴルフ大会です。眼前に富士山、眼下に駿河湾、そして初秋の爽やかな風が心地よい快適なコースが魅力です。美術館ならではのユニークな賞品もあります。ビギナーや女性もお気軽にご参加ください。

4 十三夜の宴

日　時：平成27年10月25日（日）　17:00〜20:00
会　費：会員／3,000円　一般／5,000円
定　員：約100名（要申込・先着順）
会　場：佐野美術館隆泉苑庭園
出　演：未定



「十三夜の宴」は、“月を愛でながら音楽を愉しむ”をテーマに、幅広いジャンルの音楽をお届けする庭園コンサートです。これまで、フルートやハープといったクラシック音楽、タブラやウードといった珍しい楽器を使った民族音楽など、様々な演奏会を行ってきました。演奏後の温かいお食事やお酒もご好評いただいております。

5 館蔵品特別鑑賞講座 〜仏教絵画編〜

日　時：平成27年12月5日（土）
14:00〜16:00
会　費：1,000円（会員）
定　員：約20名（要申込・先着順）
会　場：佐野美術館隆泉苑
講　師：志田理子学芸員
作　品：収蔵品の仏教絵画５点ほど

春日本地仏曼荼羅図（部分）

普段、展示する機会の少ない収蔵品を間近でご鑑賞いただく「館蔵品特別鑑賞講座」。今回は、昨年の仏像編に続いて、仏教絵画編を開催します。佐野美術館では十数点の仏教絵画を所蔵しており、特に白隠慧鶴や遂翁元盧といった禅画のコレクションが特徴的です。仏教絵画の魅力やそこからひも解く仏教の世界をご紹介します。

※日時・内容は変更する場合がございます。

平成26年度下半期 活動報告

イベントレポート

佐野美術館賛助会ミューズクラブ会報
ミューズ交歓
佐野美術館と皆さまをつなぐ

平成26年度下半期は、ゴルフ大会と十三夜の宴が
天候不順で中止になったため、2つのイベントが開催されました。

館蔵品特別鑑賞講座〜はじめての仏像〜

平成26年11月22日（土）
参加人数：25名

今回の館蔵品特別鑑賞講座は、近年のブームで注目が集まる仏像をテーマに、「はじめての仏像」と題し、志田理子学芸員に基礎知識を解説していただきました。当日は定員を大きく上回る参加者にお集まりいただきました。作品は、中国の金銅仏5体を出品し、2階常設展示室に展示されている日本の木彫仏と違いを比較できるようにしました。はじめにスライドを使って、釈迦の縁起から仏教伝来までの歴史を紹介、金銅仏と言われる小さな仏様の拡大写真で、各部の名称や意味を学びました。続いて、実際に金銅仏を手にとり、普段見ることのできない細部や背面をじっくりご覧いただきました。その後、常設展示室に移動し、重要文化財の大日如来坐像、重要美術品の蔵王権現立像、そして26年度に初めて公開された天部像の3体の木彫仏を鑑賞しました。ご参加の皆さまは志田学芸員の説明に、うなずきながら熱心に聴講していました。

歌舞伎座鑑賞日帰りバス旅行

平成27年1月20日（火）
参加人数：50名

新規事業である歌舞伎座への日帰りバス旅行を開催しました。リニューアルした歌舞伎座は、地下鉄に直結した広場に賑やかな土産物店や食事処が並び、開演前から土産袋を抱える人たちであふれていました。この日の演目は壽初春大歌舞伎昼の部で、金閣寺・蜘蛛の拍子舞・一本刀土俵入の3本立てでした。11時から16時までの長丁場でしたが、芝居が始まればあっという間、華やかな世界に魅了され時間を忘れて見入りました。特に玉三郎と幸四郎が登場する幕の終盤は、ベテランの圧倒的な風格と凄みをみせ、最高の盛り上がりをみせました。初めての企画でしたが、豪華な役者陣、作りこまれた演出、煌びやかな衣装、華麗な大立廻りなど、歌舞伎の醍醐味と奥深さを堪能し、充実した一日となりました。

MUSE 招待席

きっかけは道端のポスターでした。
10年ほど前のある日、道端に貼ってあった刀の写真が入ったポスターを見つけ、「刀？美術館にあるの？？」と思いながら佐野美術館に足を運んだのが最初でした。当時の私は美術に疎くて美術館に入ったこともなく、刀といえば漫画やドラマの中だけの物だったため、目の前に刀を展示してある事がとても新鮮に感じたのを覚えています。
美術館では色々なイベントや講演があり、それらに参加しながら色々な体験をしたり自分の知識を増やしたりすることが面白く、いつの間にかよく行く場所になっていました。
その後縁あって美術館で開講している日本刀初心者講座に籍を置かせていただく事になり、今度は講座を通じてお手伝いとして迎える側に立つ事が多くなっていました。イベントのお手伝いをしている時は、一般の参加者とも館の職員さんとも違う視点からイベントを見る事が出来る立場として楽しんでいます。現在は講座から籍を抜いていますが、今でもイベントの際にはよく声をかけていただいています。
今の私にとって佐野美術館は、ただ作品を眺める場所ではなく色々な経験が出来る場所になっています。美術に疎い事はあまり変わっていませんが、これからも多くの事を学んでいきたいと思います。

正会員　丹澤　政仁（35）

佐野美術館賛助会
ミューズクラブ